

安全報告書



2011年度版

南阿蘇鉄道株式会社

1. 利用者はじめ地域の皆様へ

いつも南阿蘇鉄道をご利用頂きまして、誠にありがとうございます。
また、当社の事業運営にご理解とご支援をいただきまして厚くお礼を申し上げます。
当社におきましては、鉄道事業の根幹は輸送の安全確保であり、経営理念の第一に「安全の確保」を掲げ、2010年度においても全社員一丸となってその実現に取り組んだ結果、お陰様を持ちまして無事故での安全輸送のご提供が出来ました。
今後も無事故への、不断の取り組みを続けていくことが重要であると考えております。
また、「安全を最優先する組織・風土の構築」に向け、安全管理体制の推進に積極的に関与して参ります。

本報告書は、2010年度に当社が行ってきた安全性向上に向けた取り組みなどを自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。

今後とも、安全で安心してご利用頂ける鉄道であると同時に、より良いサービス面の改善を図りながら、一人でも多くのお客様にご利用頂けますよう努力して参ります。

南阿蘇鉄道株式会社
代表取締役社長 草村 大成

2. 輸送の安全確保に関する基本的な考え方

(1) 安全基本方針

当社では、安全輸送の確保を第一とし、基本的な方針は次のように掲げ、社長以下、全社員に周知徹底を図っています。

一致協力して輸送の安全確保に努めます。

輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。

常に輸送の安全に関する状況の理解と確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。

事故・災害が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。

情報は漏れなく敏速、正確に伝え、透明性を確保します。

常に問題意識を持ち、必要な変革に継続的かつ果敢に挑戦します。

(2) 安全確保のための重点目標

区 分	項 目	内 容
定量的な目標	列車事故（衝突・脱線・火災）	有責事故を発生させない。
	乗客の死傷事故	乗客の死傷事故を発生させない。
	踏切障害事故	踏切故障に伴う事故を発生させない。
定性的な目標	基本動作の確実な実施と事故防止意欲の向上	

(3) 目標に対する実績

年 度	2006	2007	2008	2009	2010
列車事故（衝突・脱線・火災）	0	1	0	0	0
乗客の死傷事故	0	0	0	0	0
踏切障害事故	0	0	0	0	0

3 . 輸送の安全の実態

(1) 鉄道運転事故

2010年度の鉄道運転事故の発生はありませんでした。過去5年間の鉄道運転事故の発生件数と死傷者は次のとおりです。

年 度	2006	2007	2008	2009	2010
事 故 件 数	0	2	0	0	0
死 傷 者	0	2	0	0	0
うち死亡者	0	2	0	0	0

(2) 災害（地震・暴風雨、豪雪などによる鉄道施設への被害）

2010年度は自然災害の発生はありませんでした。

(3) 輸送障害（30分以上の遅延や運休）

2010年度の輸送障害はありませんでした。

(4) インシデント（事故の兆候）

2010年度の九州運輸局へのインシデント報告はありませんでした。

(5) 行政指導等

2010年度、国土交通省から保安監査が行なわれ下記の行政指導を受けました。

【改善指示事項】

- 1 . 車両整備基準で規定する仕業検査並びに3ヶ月検査において、一部の車両で検査周期を超過していた事実を確認した。
よって、同基準に規定する定期検査等の検査周期を遵守するとともに車両の保守管理手法等の見直しを行い、適切な検査の管理を行うこと。
- 2 . 運転取扱実施基準に定める合図灯について、立野駅及び中松駅に備えられていない事実を確認した。
よって、同実施基準に定める合図灯を立野駅及び中松駅に備え付けるとともに、適切に管理すること。
- 3 . 運転管理部署において管理されている所属運転士の動力車操縦者運転免許証を確認したところ、省令に基づく記載事項の変更がされていない事実を確認した。
よって、速やかに必要な記載事項の変更申請を行うとともに、法令遵守に係る管理体制を構築すること。
- 4 . 運転取扱実施基準に定めた点呼について、一部の運転士に対する点呼が規定の点呼執行者により行われていない事実、及びその他の係員に対する点呼執行者の規定が現在の職制と整合していない事実を確認した。
よって、厳正な点呼が執行される体制を確立させるとともに、現在の職制と整合するよう実施基準の見直しを行うこと。

【改善勧告事項】

運転取扱実施基準に定める異常時対応訓練について、実施した内容等の記録がされていない事実を確認した。よって、訓練実施に係わる記録について確実に記録するとともに適切に管理すること。

以上の項目に対して、行政指導を受けましたので、指導を受けた部分に関しては早急な対応を図っております。

今後も皆様を安全・快適に輸送するために安全確保に努力をしております。

4 . 輸送の安全確保のための取組み

(1) 安全のための施策

安全の維持向上のために、鉄道施設や車両の保守点検整備を計画的に実施しています。

2010年度においては、車両面では重要部検査として、トロッコ列車のDB16形機関車2両とMT2000形車1両、それぞれ車両整備実施基準に基づいて検査を実施しました。

線路面では年度計画による軌道整備工事の実施により、古枕木の交換および軌道修正を実施しています。また電路面では信号・踏切・自動列車停止装置・風速計等を対象とする検修工事を実施しています。

(2) 緊急時対応訓練

JR九州熊本支社主催の脱線復旧訓練の視察により、習熟を図るとともに、当社、脱線復旧器具の取扱訓練及び復旧器具の整備を実施しております。

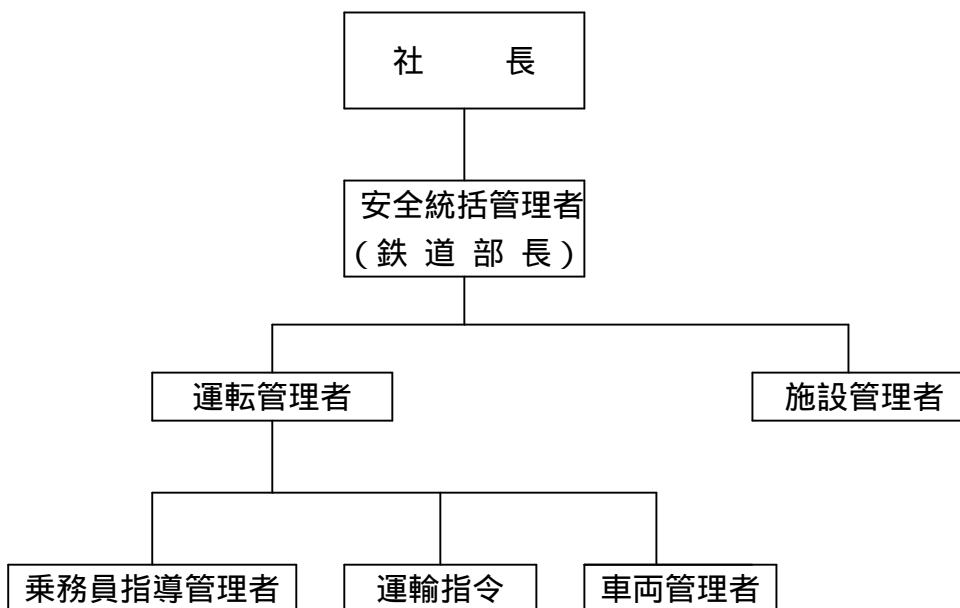
異常時運転取扱として信号トラブル時の代用閉そく施行訓練を行っております。

定期のミーティングにより、全社員に危機管理意識の高揚を行っております。

5 . 当社の安全管理体制

(1) 安全管理組織

当社では社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者を明確にした上で安全確保のため役割を担っております。



(2) 安全管理者の役割

役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運 転 管 理 者	運転に関する事項を統括する。
施 設 管 理 者	安全統括管理者指揮の下、施設に関する事項を統括する。
車 両 管 理 者	安全統括管理者指揮の下、車両に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	安全統括管理者指揮の下、運転士の資質保持に関する事項を管理する。

6 . ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社への安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

南 阿 蘇 鉄 道 株 式 会 社	
TEL 0967-62-0058	FAX 0967-62-0433
E-mail	nantetsu@athena.ocn.ne.jp
月 ~ 金 9 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0 (祝 休 日 を 除 く)	